

2022年11月24日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

**高校生が社員とペアで実施
体験型実技演習プログラム「Job Shadow」(ジョブシャドウ)**

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO 添田 毅司）は、11月10日に福島県立磐城桜が丘高等学校の学生25名と本社社員をオンラインで繋ぎ、体験型実技演習プログラム「Job Shadow」(ジョブシャドウ)を実施しました。

「Job Shadow」は、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本（東京都品川区、代表理事 佐川秀雄）が提供する体験型実技演習プログラムです。本プログラムは、学生が社員とペアになり「影（シャドウ）」として行動を共にし、「仕事の内容を理解すること」ではなく「仕事をしている人を見て仕事の厳しさや考え方、責任感を肌身で体験すること」を目的としており、参加する学生の進路・職業の選択に役立つ機会を提供します。

ジブラルタ生命は、被災地いわきに住む次世代の、キャリア意識の形成を支援する目的で2017年から本プログラムへ協賛しており、5回目の実施となる今年も福島県立磐城桜が丘高等学校の学生が参加しました。

当日は、本社（オフィスまたは在宅勤務の社員）と福島県立磐城桜が丘高校をオンラインで繋ぎ、学生は本社社員10名とペアを組んでミーティングに約1時間半参加しました。本来は文字通り「影（シャドウ）」として行動を共にするものですが、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催とし、複数設定されたミーティングルームに分かれて社員のキャリア紹介を行ったあと、生徒からの質問に社員が実体験に基づき回答するという形式で実施しました。各ミーティングルームでは高校生から多くの率直な質問が投げかけられ、活発な意見交換が行われました。

<全体ミーティングの様子>

ジブラルタ生命はこれからも子どもたちへの様々な学びの機会の提供を通じて、“未来を担う子どもたち”を応援してまいります。

以上

参考資料

参加後の感想（一部抜粋）

<高校生>

- ▶ 高校生活で大切なこと、ためになることをたくさん聞くことができ、今後の進学、就職に生かしていきたいと思った。
- ▶ 高校生として今しかできないことを聞いて、将来を前向きに考えることができた。
- ▶ 困難に直面した時の対処方法や人に相談したほうがいいことなど、アドバイスをもらうことができ良い経験になった。
- ▶ とても重たい質問をしたが、わかりやすいように回答をしてくれて嬉しかった。久しぶりにもっと時間が欲しいと思った。

<ジブラルタ生命社員>

- ▶ 初々しくも非常にエネルギッシュな高校生の皆さんと触れ合うことができ、とても元気をもらった。高校生の頃に社会人から仕事に関する考え方や体験談を聞くというのは非常に貴重なことで、素晴らしい取り組みだと思う。
- ▶ 高校生からすればかなり大人に感じたと思うが、一生懸命質問を考え、発表する姿に感動した。自分が高校生だった当時は社会人と接する機会などなかったので、こういった機会が少しでも参加者の役に立っていたら嬉しく思う。

【ジュニア・アチーブメントについて】

1919年に米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しており、現在、世界123か国、全米129都市に活動拠点があります。日本本部の設立は1995年で、プログラムを導入する学校は全国に拡大しています。2010年7月より公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本となり、活動範囲をさらに拡大しています。社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会で自立できる力）を育むための支援を提供しています。

ジュニア・アチーブメント ワールドワイド HP <https://www.jaworldwide.org/>

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本 HP <https://ja-japan.org/>

以 上